



菊池高等学校提供
地域活性化イベントである「菊高ジャック」

菊池

題字／菊池高等学校2年 古市 乃愛さん

議会だより

6月定例会 Contents

特集『子ども議会』	2~3
定例会審議結果	4
委員会報告	5~7
12人が市政を問う	8~13
令和6年度政務活動費	15

令和7年度

菊池市
子ども議会

令和7年8月1日、市内の5つの中学校から生徒21名が出席し、子ども議会が開催されました。

子ども議会は、生徒がまちづくりに関する質問や提案を議場で発表し、執行部が答弁する模擬議会のことです。

子ども議会も
インターネットで!!

菊池市議会HP 議会中継
菊池市子ども議会

今回や過去に開催された子ども議会の録画映像は、インターネットでご覧いただけます。

※編集の状況により、本号の発行より数日ほど配信が遅れる場合があります。ご了承ください。

令和7年度菊池市子ども議会
議長 西山陽菜（泗水中学校）

【感想】私が今回菊池市子ども議会で議長を務めたことは、緊張と自分自身の成長です。議長席に座っていることに緊張を感じ、ずっと手足が震えていました。

しかし、各学校の発表を聞くうちに緊張は消えていき堂々と発言することができました。今回の議会では、この菊池市について考えを深めるだけではなく自分自身が成長するきっかけとなり、よい経験になりました。

こうした機会を与えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

●菊池南中学校

安心安全
住み続けられる街づくりを

【感想】課題を伝え合うことが、これからの未来をよりよくしていくけると気づきました。



廣田 詞タ 茂田 和虎

多文化共生社会を
実現するために

【感想】菊池のことをさらに知り、自分が今できることを探っていききたいです。



近藤 るか 上野 響詩

●菊池北中学校

防災で安心安全なまちづくり

【感想】菊池市の未来について考えて、発信することができ、とても貴重な経験となりました。



岩永 啓志 松永 祐佳

子どもの睡眠時間確保のための
施策

【感想】多くの視点からの意見を聞き、自分自身も学びとして得るものが大きかったです。



頼本 大虎 原田 芽

● 泗水中学校

よみがえれ 合志川
～泗水に活気を～

【感想】

私たちが立ち上がることで未来を変えられる力があり、その力の使い方を学べました。



長田 優作 泗水 康太郎

学用品 リユースプロジェクト
～経済的な子育て支援～

【感想】

自分たちが携わっていく町や地域をより良くするための一歩を踏み出せた実感しました。



宮本 華蓮 出口 玲

● 七城中学校

菊池の伝統芸能「神楽」の
継承について

【感想】

「伝える」ことの中にある人の「らしさ」や「思い」の大切さを強く感じました。



坂本 海斗 園田 好誠

安心・安全な登下校のために

【感想】

とても緊張したけど、はきはき堂々と伝えることができたので良かったです。



石淵 和奏 隈部 百利乃

● 旭志中学校

旭志、焼肉ロード構想
～旭志牛でつなぐ、まちと未来～

【感想】

今日のために、何度も話し合ったりしたので真剣に答弁してくださり嬉しかったです。



飯星 眞琉 大賀 心遥

菊池市旭志地域の医療体制
充実のための病院設立について

【感想】

自分たちの町を住みやすくするには、声を上げていくことが大切だなと思いました。



萩原 華 桐原 壮琉

【子ども議会を終えて】

子ども議員から、中学生独自の目線でまちづくりに関する質問や提案があり、それに対し執行部から答弁が行われました。

一般質問の中では、課題解決のヒントとなるような貴重な意見や提案などがあり、子どもたちが市政に関心を持ち参画する実りある素晴らしい子ども議会でした。



この定例会では、条例の制定、補正予算、人事案件など31議案が提案されたほか、議員提出議案が3件、議事が1件、決議案1件、報告が15件、陳情が1件あり、慎重に審議しました。

審議の結果、議員提出議案第6号、決議案第1号、陳情第1号を除き、原案のとおり可決・承認・同意しました。議員提出議案第6号、決議案第1号、陳情第1号は否決、不採択となりました。

開催日：6月13日（金）～7月4日（金）

主なものは以下のとおりです。

主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

議案番号	議 案 名	結 果
議 案 第 36 号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (菊池市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案承認
議 案 第 39 号	菊池市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 案 第 41 号	菊池市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 案 第 42 号	菊池市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 案 第 43 号	菊池市地域経済牽引事業奨励条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 案 第 45 号	令和7年度菊池市一般会計補正予算(第1号) (P5～7に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています。)	原案可決
議 案 第 52 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意
議員提出議案第6号	菊池市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案否決
決 議 案 第 1 号	菊池市議会 本藤 潔議員に対する辞職勧告決議	原案否決
陳 情 第 1 号	新型コロナワクチン予防接種台帳の保存期間延長に関する陳情書	不採択

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

議 案	結 果	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		表 決 数	賛 成 反 対	城	本	安	稲	古	島	大	田	福	緒	後	東	水	猿	荒	工	二	泉	木	山
				太	藤	武	智	田	春	宝	教	英	哲	英	奈	上	渡	木	藤	文	栄	下	瀬
議 案 第 36 号	承認	18 対 1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 39 号	可決	18 対 1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 41 号	可決	18 対 1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 42 号	可決	18 対 1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 43 号	可決	18 対 1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 45 号	可決	13 対 6		○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	●	/	○	●	○	●	○	●	○
議 案 第 52 号	同意	16 対 3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第6号	否決	7 対 11		棄	●	●	○	○	●	○	●	○	●	●	●	/	●	○	●	○	●	○	●
決 議 案 第 1 号	否決	6 対 11		●	除	●	●	○	●	○	●	○	●	●	棄	/	●	○	●	○	●	○	●
陳 情 第 1 号	不採択	2 対 17		●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	/	●	●	●	●	●	●	●

※ 除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

委員長／工藤 圭一郎 副委員長／稲継 智康

分科会長／(総務文教)緒方 哲郎 (福祉厚生)猿渡 美智子 (経済建設)田中 教之 委員／議長を除く14名

可決

【議案第45号】

令和7年度菊池市一般会計補正予算(第1号)

まちなかデザイン会議事業

758万5,000円

内容 過去2年間熊本大学に業務委託してきたが、具体的にまちなかの活性化を実現していくために、より専門性の高い業者に会議等の運営及び計画策定等の支援業務を委託するもの。

意見 費用対効果などの検証を行い、その結果に基づき将来の事業計画を立ててほしい。

一般廃棄物処分場監視経費

1,420万8,000円

内容 小木地内の一般廃棄物最終処分場の浸出水の運搬及び処理経費並びに運搬に係る仮設道路整備に要するもの。

質疑 最終的な処分場建屋の解体撤去はいつごろか。

答弁 本年度中に浸出水の処理を完了させ、廃棄物の処理を来年度実施する予定だが、処理には約2年程度かかるかと想定している。建屋の解体撤去は、地域住民との意見

質疑 菊池温泉街リブランディング事業と、まちなかデザイン会議事業の2つの事業に分けた理由は。

答弁 国の地方創生推進交付金を両事業で活用するため

交換を図り検討することとし時期は未定である。



福祉厚生分科会 現地調査

生活支援体制整備事業

240万2,000円

内容 生活支援コーディネーターとして、社会福祉協議会より週2回、社会福祉士1人を派遣してもらうための派遣職員負担金とするもの。

質疑 このサービスを受けるのは、要介護認定又は要支援認定を受けた方が前提か。

答弁 高齢者全般どなたからの相談にも対応する。

質疑 コーディネーターは依頼を受けて派遣されるのか、それとも自ら出向いて困りごとを把握していくのか。

答弁 依頼を受けてから派遣することあれば、自ら出向いていくこともあるので、シニア向け生活支援サービスガイドの冊子等を活用し広く制度の周知を図り、地域の見守り活動のフォローアップにも力を入れていきたい。



予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

子ども議会

定例会

委員会・分科会

一般質問

政務活動費

その他

観光プロモーション事業

9,384万3,000円

内容 菊池温泉街リブランディング基本構想及び実行計画に基づき、旅館等の経営基盤強化や食を通じた温泉街魅力化、景観まちづくりに取り組み、温泉街の活性化を図るもの。また、菊池市観光振興ビジョンに基づき、新たな観光推進体制としてDMO※を設立し、まち全体で稼ぐ体制を整備するもの。

※DMOとは、地域の観光資源を最大限に活用し地域と協働で観光客の誘致や満足度向上に取り組む地域経済の活性化を目指す組織のこと。

質疑 DMOについて稼ぐ力を引き出すとあるが、何を根拠にしているのか。また、何年程度で負担金を廃止する考えか。

答弁 DMOが市場調査等の分析データに基づき効果的な観光戦略を実行し、日々積み重ねDMOの会員と共有し戦略につ

なげていく。負担金の支出は徐々に減少することはできても廃止することは難しい。

議員問討議 観光を通じて地域の稼ぐ力を引き出すとあるが見えづらい。効果を様々な角度から数値化し毎年報告をしてほしい。

議員問討議 数年後の目標とその計画を基に事業を進めることが重要である。債務負担行為の設定をし、複数年度の安定した運営の中で事業効果を達成し、DMOを成功させていたいただきたい。



観光施設整備事業

3,980万6,000円

内容 わいふ一番館の再整備を目的とした基本設計、竜門ダム周辺の整備、有朋の里泗水孔子公園の施設整備工事の基本設計及び七城温泉ドーム・リバーサイドパークの設備を修繕するもの。

質疑 リバーサイドパークの設備修繕に予備費を充用しなかった理由は。

答弁 緊急性等を勘案し、補正予算を計上した。

意見 設備等の故障により明らかに市民サービスに支障を来す場合は、早急に予備費を充用して対応すべきである。



リバーサイドパーク

菊池前進塾事業

715万6,000円

内容 市内3高校の魅力化を推進し国公立大学等への進学を支援するための菊池前進塾を運営するもの。

質疑 昨年度利用者数と本年度利用者数の目標は何人か。

答弁 昨年度の平均利用者数は、1日当たり2〜3人だった。本年度利用者数の明確な目標値は今後3高校と協議し決めたい。

議員問討議 利用生徒数を増やさなくては結果に結びつかないため、利用生徒数の目標値も掲げるべきである。

議員問討議 これまでの反省点を踏まえて、今回は政策的に取り組んでいることを評価しており、県立高校の厳しい現状を踏まえると努力されていると評価する。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

可決

【議案第62号】
令和7年度菊池市一般
会計補正予算(第2号)

物価高騰対応重点支援事業
(学校給食費の補助)

1,801万3,000円

内 容 食料費の高騰による給食費の値上げに対し保護者の負担を軽減するため、1食当たり小学校で22円、中学校で31円を補助するもの。

質 疑 小学校では給食費の値上がり36円のうち22円を補助し、中学校では給食費の値上がり52円のうち31円を補助することだが、一部補助とした理由は、

答 弁 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加交付に当たり、一般財源等を調整する中で、一部補助とすることにした。

議員質問

今、学校給食費は、無償化の方向に進んでいることから、給食費の値上げ分の全額を補助してもよいと思っている。



施設設備の修繕に関する提言

経済建設分科会より「リバーサイドパーク多目的ホールの空調設備修繕料の補正予算について、本件のように設備等の故障で明らかに市民サービスに支障を来す場合は、早急に予備費を充用して対応するよう提言する」との総括提言書が提出された。

執行部からは、「緊急度を高く位置付けた上で、その都度庁内で協議の上、適切な予算措置方法を選択したい」との答弁があった。

否決

議員定数条例の一部
を改正する条例案

内 容 議会改革検討委員会の審査項目だった議員定数の市民アンケートでは、61%の市民が定数削減を望んでいたものの委員会として定数削減の提案には至らなかった。市民の声を無視しての現状維持の選択は、議会の信頼を失墜させるとの理由で前定例会で提案したが否決となった。その後、多くの市民の声を受け、再度議員定数を20人から18人に削減する条例案を提出する。

反対討論 2人削減は、常任委員会の1つが5人での運営となることから議会機能の低下を招く恐れがあり反対する。また、議決の結果を尊重することは議会制民主主義の根幹をなす重要な原則である。本議案は前回否決された議案とほぼ同じであり、議決結果を尊重しない今回の上程は議会軽視である。

賛成討論 市民からは議員定数削減を早急にするべきと言った声が少なくない。前回、2人削減には反対だが1人削減は可能との反対討論があったが、それならば定数1人を削減する議案を提出するべきではないか。

反対討論 議員定数の削減は、市民の声を市政へ届けるパイプ役を削る行為であり、自治体を住民から遠ざけることに繋がる。議会に求められていることは、市民の声を市政に反映させチェック機能を果たすことであり定数削減はこの願いと逆行する。

賛成討論 全国の市議会議員の定数の現状は、5万人未満の市が平均16・8人であり、4万8,000人である菊池市は18人が最適と考える。議会改革を唱えるのであれば、まず定数を削減することが改革の第一歩であると認識していただきたい。

賛成討論 市民の痛みの前に、議会が身を切る改革を行い市民に理解を求めなければならぬ。前回の削減案が否決されたことで市民の方々より厳しい意見が多数届いている。市民の声を無視することのないよう判断していただきたい。

賛成討論 反対討論で何度も上程することが議会軽視になるとの発言があったが、過去に何度も上程し結果が変わった議案もある。市議会議員の一番の仕事は市民の暮らしを守ることであり、慢心、惰性、特権意識がはびこる議会を市民は信用しない。

Q 国指定史跡に決定した菊池氏遺跡の今後の活用は。

A 保存活用のための菊池氏遺跡保存活用計画を策定中である。



泉田 栄一郎 議員

動画はこちら→



Q 菊池氏遺跡の適切な保存・管理・整備を図り、歴史学習や地域活性化等、幅広く活用するための「保存活用計画作成」の目的を問う。また、周知方法として説明文や看板の設置計画はあるか。

A 史跡の適切な保存活用を図るために策定するもので、今後の保存活用の方向性を示すものである。説明板等は設置の必要があると考えており、遺跡の見せ方、周辺整備、活用方法等を策定する保存整備計画の中で検討していく。

詐欺被害対策について

Q 特殊詐欺による被害が増加している。オレオレ詐欺をはじめネット詐欺等手口は様々で巧妙に

なっている。本市における被害件数と被害額、また、被害防止対策を問う。

A 平成26年は被害件数5件で被害総額1,150万1,000円、令和元年は被害件数2件で被害総額35万円、令和6年は被害件数8件で被害総額2,842万3,609円である。被害防止対策として、防災無線・防犯行政ナビでの注意喚起や、菊池警察署防犯協会等と合同で様々な場所等特殊詐欺被害防止の周知を行った。

その他の質問

- ・木下韓村跡地について
- ・花房さくら坂公園及び周辺の整備について
- ・菊池米の生産力アップについて

Q 本市農業の現状をどのように捉えているか。

A 新規就農者の確保、生産体制の強化による農業経営の安定化を図ることが重要。



緒方 哲郎 議員

動画はこちら→



Q これまでの本市独自の取組とこれからの取組は。

A 新規就農者確保のため、新規農業就業奨励金の交付、本市営農指導員による新規就農者への技術的な指導・助言、日本農業経営大学校と共催で農業経営力養成セミナーを開催する等の取組を行っている。また、農産物の付加価値向上のため、環境王国菊池農業生産基準を制定し、全国16自治体で組織される環境王国に認定されており、本年3月にはオーガニックビレッジ宣言を行った。さらに、菊池米食味コンクールを行い、米生産者の意識高揚、菊池米のブランド化、消費者へ向けたPRを行っている。

小学校の通学路について

Q 小学校の通学路において、安全性の把握はできているか。

A 菊池市通学路防犯・交通安全プログラムに基づき、通学路の危険箇所等に関する要望書や関係機関による合同点検により状況を把握し、道路管理者、警察、教育委員会等による菊池市通学路安全推進会議により危険箇所の改善に努めている。



Q 大災害発生時に備えて携帯トイレは必要数備蓄されているのか。

A 約2万袋を備蓄している。



島 春代 議員

動画はこちら →



Q 災害発生時の備蓄は重要であり、特にトイレに関する備蓄は、二次被害への恐れとなる関連死を防ぐためにも重要であると考えます。想定する避難者数に対して十分な対応と今後の計画はどのように考えているのか。

A 熊本地震の避難者数を基準に、携帯トイレ約2万袋を備蓄している。これに加え、災害時は個人の備蓄や協定先の企業及び自治体との連携により、各種資材を調達する。今後の更新は、耐用年数等を確認し随時進めていく。



小1の壁について

Q 共働きも多いことから早い時間の登校や下校時の学校の体制状況はどうか。また、幼児教育から小学校教育への連携となる架け橋プログラムについてはどのようにされているのか。

A 早い時間に登校した児童が校門の前で待っている事例はなかった。登下校時の見守りは、先生・PTA・地域の方により行われている。また、菊池市幼・保等、小・中連携推進協議会により地域や関係機関と連携した架け橋期のカリキュラムが作成され保育と教育のスムーズな接続が図られている。

Q Jクレジットに対する本市の考え、取組は。

A 温室効果ガスの排出量及び吸収量の状況を踏まえ慎重に進めたい。



後藤 英夫 議員

動画はこちら →



Q 北宮館跡の将来と公園化に向けた展望は。

A 菊池氏遺跡の保存活用を図るため、菊池氏遺跡保存活用計画を策定しているところであり、公園化は保存活用計画を基にした保存整備計画を策定する中で検討したい。

Q 北宮団地から国道387号へつながる里道の市道認定・道路改良について、菊池地区長会長、北宮区長、深川区長、大琳寺区長が過去に2回、要望書を提出しているが、今後の見通しは。現在、民間の動向や地域情勢の変化が顕在化しているが、本市の判断と注視した点は。



A 現状は、道路整備計画はないため市道に認定する考えはないが、この周辺は近年地域情勢に変化が見受けられ、重要な地域であると認識している。今後も民間の動向や地域情勢を見据え、調査検討を進めたい。

Q 電線類地中化に対する本市の考えは。また、市街地や観光地を無電柱化する考えは。

A 費用が高額になる等のデメリットを踏まえ、現状は電線を地中化する計画はない。温泉街の無電柱化は実現可能性や費用対効果、地域住民等の意見も踏まえ中長期的な視点から検討したい。

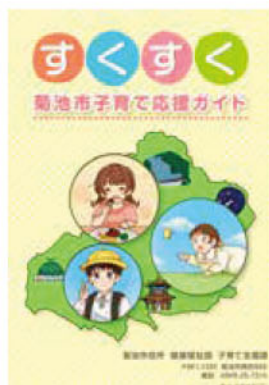
Q 本市消防団の活動にドローンを活用する考えはあるか。

A 効果が期待できるため、実現に向け消防団と協議を図りたい。



田中 教之 議員

動画はこちら→



A ホームページ、広報紙、母子手帳アプリにより地域の子育て情報をお知らせしている。また、保健師による1か月児訪問指導の際に「菊池市子育て応援ガイドすくすく」を配布し周知を行っている。妊娠届時や乳幼児健診でも、必要と思われる子育て支援事業を紹介し周知に努めている。

子育て支援について
Q 子育て支援事業の周知方法とその課題を示せ。

Q 課題に対する改善策を示せ。
A 保健師などによる乳幼児訪問や育児相談等の面談、関係機関と情報共有を図り、早期に対応すること、児童虐待などの深刻な状況にながらないよう支援していきたい。多様な困り事やニーズを的確に捉え、関係機関が連携することで、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援ができると考えており、今後も相談窓口であるこども家庭センター「きくぴあ」を中心に、より一層安心して子育てできるまちとなるよう努めていく。

Q 学校給食の食材費が上がっているが対策はあるか。

A 給食費の値上げと献立の工夫で栄養バランス等を確保している。



本藤 潔 議員

動画はこちら→



A 本年度補正予算で物価高騰対応の臨時交付金を活用し、小中学校の給食費に対する補助金を交付する予定である。

Q 給食費の値上げを補填する予算措置が必要ではないか。

A 食材費は前年度比でお米は2.1倍、牛乳やパンは5%上昇し、1食当たりの給食費を小学校で36円、中学校で52円値上げした。献立の工夫により費用を抑えるよう食材を選定し、カロリーや栄養バランスの基準値確保に努めている。

Q 物価高騰で食材費が上昇する中どのような工夫、改善策をしているのか。



菊池農業高校でのドローン体験

A ドローン有資格者で災害時に協力いただく方のリスト化を協定先の自動車学校に進めていただいている。また、資格取得のための技術訓練の場として屋内体育施設の利用を許可することは、民間施設の活用も含め条件面での整備を行い検討していく。

Q 災害に関する包括連携協定を結んでいる民間会社の災害活動に活かせるドローン隊と、本市との連携はあるのか。

包括連携協定の民間活用について

Q 閉院後の旭志地域の医療体制をどのように対応するのか。

A 保健師等が保健指導が必要な方に家庭訪問を行っている。



安武 睦夫 議員

動画はこちら →



A 産婦人科や小児科などの診療科の不足、後継者不在による医療機関の閉院、医療従事者の人材確保の困難等の課題を認識しており、中長期的な視点での対応が必要である。今後関係機関と現状や課題の把握に努め、調査研究を進めたい。

Q T S M C 進出による人口増や外国人雇用者増などの多様性への対応、渋滞による二次救急搬送困難、小児 I C U 設置、高齢化が増える中で在宅医療体制の確保などの課題解決には大病院の誘致も必要と考えるが、医療体制に対する課題認識の考えは。

Q 旭志地域の皆様は、病院がなくなることへの不安をお持ちだが、在宅医療や予防接種、健康観察などを含め、今後、旭志地域の医療体制をどのように対応するのか。

A 市の保健師や看護師、管理栄養士等が、生活習慣病をお持ちで保健指導が必要な方に家庭訪問を行っている。今後、旭志地域を含め本市の在宅医療等について医師会と協議していきたい。また、在宅医療・介護連携推進事業連絡協議会で関係団体と課題を共有し検討したい。

その他の質問

- ・地域新電力（自治体新電力）の活用について

Q 給食費値上げについては財政措置をとるべきではないか。

A 物価高騰対応の臨時交付金を活用し給食費に補助をする予定である。



東 奈津子 議員

動画はこちら →



A 法は、給食費は保護者に負担いただくことを原則としており、無償化を行う考えはない。ただし、国では小中学校給食の無償化をできる限り早期に目指したいと言及されていることから、今後の推移を見守りたい。

Q 全国でも県内でも給食費の無償化が進んでいる。給食は教育の一環である。菊池市でも無償化実施を進めていくべきではないか。

Q T S M C 進出以降、本市においても8件の半導体企業が進出または予定をしている。半導体の製造過程では大量の P F A S が使用されることが予想される。P F A S の使用の有無、種類、排出、保管の方法等について聞き取り調査を行っていくべきではないか。

A 県環境モニタリング委員会で示された対応方針に基づき、県としての対応が図られることとなっているため、県の動向を注視しながら、県や近隣自治体からの情報収集・共有に努めてまいりたい。

P F A S 対策について

Q 今後の市政をどう考えるか。

A 市民の意見に耳を傾け、期待に応えていきたい。



二ノ文 伸元 議員

動画はこちら→



Q 今回の市長選挙の得票結果からこれまでの課題が伺える。これをどう受けとめ、改善、対応していけるのか。

A 市長選挙の結果について、数字としては厳しい結果となった。候補者がそれぞれの政策を訴えた上で、今回の信任をいただいたと認識している。今後も貴重な声に対し真摯に耳を傾け、期待に応えられるよう全力を尽くして進んでまいりたい。

Q 公約「稼げる地域観光商社DMOの設立、支援」について現在の進捗状況と具体的計画は。



A 昨年の菊池市観光戦略会議で菊池観光協会をDMOに発展改組する方針が示された。これを踏まえ本年6月に菊池観光協会の総会で承認され、本年度内のDMO登録に向け準備を進めている。今後は、データを活用したマーケティングや国内外の観光プロモーション等の事業を行い、地域と協働で観光客の誘致や満足度向上に取り組むことで、地域経済の活性化を目指す。

Q ダム交付金を基金として、維持管理に活用する考えは。

A 交付金の性質上、基金を創出する考えはない。



福島 英徳 議員

動画はこちら→



竜門ダム

Q ボート競技、ワカサギ釣り等の遊漁、キャンプ場等の観光施設がある竜門ダムを有効活用することによって、市の経済効果も上がると思うが、市の考えと方針を示せ。

A 今年度に竜門ダム周辺地域活性化推進協議会と斑蛇口湖活性化推進協議会の2つの協議会を統合した。今後は、統合した協議会で湖面を含め周辺地域の活用を協議していく。また、竜門ダム水源地域ビジョンを見直

し、関係部署が連携しながら、将来のダム周辺地域の取組を進めていく。

有害鳥獣対策について

Q 農作物被害が年々倍増している現状を市に伝えても、取組が見えないとの声も多く耳にする。4年前に近隣自治体と広域で有害鳥獣対策に取り組むべきだと提案したが、その後の状況を示せ。

A 熊本県では、県内全域を対象に一斉捕獲期間を年2回設定し、広域的な捕獲活動を実施している。また、市町界における有害鳥獣の目撃情報は、近隣市町と情報共有を行い、菊池市有害鳥獣捕獲協議会と連携し必要に応じて見回りや対応を実施している。

Q ワンデーレスポンスの導入の考えは。

A 有効な取組であることから導入に向け検討していく。

動画はこちら→



荒木 崇之 議員



Q 菊池市が発注する工事で、建設業法第20条第4項に違反し、工事公告日から質問期間を1日しか設けていなかった工事は、平成25年度から何件あるのか。

A 市全体で1,673件である。なお、平成25年度以降熊本県市町村電子入札システムを導入し電子入札を行っており、システムの制約上、質疑の受付ができないため書面による受付のみを行ってきた。システム上、説明請求期限を設定した日以降でなければ入札ができず、入札期間を長くとるために指名通知日の翌日を説明請求期限と設定する取扱いとしていた。

Q 熊本市では、工事期間中に請負業者から工事に関する質問があった場合、原則1日で返信する

「ワンデーレスポンス」を導入しており、本市でも導入を急ぐべきと考えるが。

A 工事現場で発生する諸問題に対し迅速な対応を実現する有効な取組である。実施要領の策定や受注者への周知等が必要だが、係内の確実な報告及び情報の共有化、内部検討の迅速化等に取り組みながら導入に向け検討していく。

その他の質問

- ・図書館の会計年度任用職員の採用について



Q 企業版ふるさと納税の今後の取組は。

A 引き続き今後も積極的に企業訪問していきたい。

動画はこちら→



木下 雄二 議員



Q 菊池市は合併20年を経過し、人口減少子高齢化に直面している。今後は行政区の合併の必要性が考えられるが、現在の取組の状況は。

A 合併は住民の合意形成が重要である。それぞれ抱える課題等の解決に向け協議することが必要のため、各区の意見を十分に聞くことから取り組んでいく。

Q 菊池市はふるさと納税寄附額はまだ少ないがこれまでの推移は。また、今後は半導体関連企業へのトップセールスが重要な企業版ふるさと納税の取組は。

A 寄附額は、令和2年



半導体関連企業へ未利用水活用が見込まれる竜門ダム

その他の質問

- ・道路整備について
- ・菊池市公共施設等総合管理計画について
- ・九州産廃菊池事業所廃止後の地元水迫地区への対応について

Q 迫間地区における追尾型太陽光発電事業が新規に設置されたことに対して市環境基本条例に基づく地域住民への説明責任は。

A 環境基本条例に基づき継続した対応を図っており、今後両方の協議が整うよう取り組んでいきたい。

度1億2,276万円、令和3年度2億529万円、令和4年度2億9,375万円、令和5年度3億7,416万円、令和6年度5億1,223万円である。また、企業版ふるさと納税の寄附額は令和6年度2,565万円、今後積極的に企業訪問していきたい。

永年勤続表彰

工藤 圭一郎 議員(15年)
荒木 崇之 議員(10年)

第101回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に努められた功績に対し、工藤圭一郎議員に市議会議員として15年、荒木崇之議員に市議会議員として10年の表彰状が贈呈されました。
伝達は、令和7年第2回定例会の開会日(6月13日)に議場で行われました。



荒木議員、工藤議員

感謝状

全国市議会議長会より、全国市議会議長会国会対策委員会委員として会務運営の重責にあたられ、その使命達成に尽くされた功績に対し、水上隆光議長へ感謝状が贈呈されました。



水上議長

議会をインターネットで!

傍聴においでいただけない場合でも、インターネットで過去の本会議の録画映像をご覧いただけます。

菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくと会議録画映像を見ることができます。

なお、紙面の一般質問のページのQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像へアクセスできます。

※リアルタイムでの中継ではありません。録画映像の配信までに時間がかかります。



菊池市議会HP
議会中継

菊池市議会 議会映像 検索

議長交際費を公表します

令和7年5〜7月分は、左記のとおりです。

会費(公的性格を有する団体との協議会費及び負担金)

4件 2万3,000円

その他(他自治体への研修及び議長会等経費)

0件 0円

合計

4件 2万3,000円

議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動を行うために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上、妥当と思われる範囲にとどめるよう努めています。

令和6年度の政務活動費を公表します

菊池市議会議員の令和6年度の政務活動費の実績を次のとおり公表します。

政務活動費は、議員の調査研究活動などに要する経費として、議員1人あたり月額2万円（年間の上限は24万円）が交付されています。

交付上限額と支給実績額のいずれか少ない方の額が支給実績額となり、交付上限額を超えて支出した場合は、自己負担となります。

（単位：円）

No.	議員名	交付 上限額 (A)	使 途 別 支 出 額						合計 (B)	支給 実績額 (A・Bで 少ない方 の額)
			会議 研修費	調査 研究費	資料 作成費	資料 購入費	広報費	広聴費		
1	本藤 潔	240,000		129,600			118,900		248,500	240,000
2	安武 睦夫	240,000	22,700	80,000	10,722	11,440			124,862	124,862
3	稲継 智康	240,000	69,220			57,900	125,290		252,410	240,000
4	古田 浩敏	240,000							0	0
5	島 春代	240,000	33,000	49,765	3,340	9,972	129,250		225,327	225,327
6	大山 宝治	240,000							0	0
7	田中 教之	240,000	131,730					96,558	228,288	228,288
8	福島 英徳	240,000		320			225,159		225,479	225,479
9	緒方 哲郎	240,000	83,815			100,000			183,815	183,815
10	後藤 英夫	240,000		49,603		131,802			181,405	181,405
11	平 直樹	200,000					222,420		222,420	200,000
12	東 奈津子	240,000	7,000	1,580		42,550	54,373		105,503	105,503
13	水上 隆光	240,000	66,100			132,242			198,342	198,342
14	猿渡美智子	240,000				51,392	94,600		145,992	145,992
15	荒木 崇之	240,000		2,230			461,651		463,881	240,000
16	工藤圭一郎	240,000							0	0
17	二ノ文伸元	240,000				35,292			35,292	35,292
18	泉田栄一郎	240,000			5,720	79,324	78,210		163,254	163,254
19	木下 雄二	240,000					265,720		265,720	240,000
20	山瀬 義也	240,000	21,100	129,600		46,992			197,692	197,692
合計		4,760,000	434,665	442,698	19,782	698,906	1,775,573	96,558	3,468,182	3,175,251
構成比			12.5%	12.8%	0.6%	20.2%	51.2%	2.8%	100.0%	



← 各個人ごとの収支報告書等は、
市のホームページにて、ご覧になれます。

令和7年 第3回 菊池市議会定例会日程の予定



月 日	区 分	日 程
8月26日	本会議	開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明
(8月27日～31日 休会)		
9月1日	本会議	質疑・委員会付託
9月1日	委員会	予算決算常任委員会
9月2日 9月5日	本会議	一般質問
(9月6日～7日 休会)		
9月8日 9月11日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 (総務文教・福祉厚生・経済建設)
(9月12日～18日 休会)		
9月19日	委員会	予算決算常任委員会
(9月20日～24日 休会)		
9月25日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

※この予定は、会期中に変更になる場合があります。

議会傍聴を お待ちしております！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席は、バリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しください。皆さまのお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継をご覧いただけます。



※感染症対策などにより、入場に制限がある場合があります。

**9月定例会は8月26日(火)に
開会しました。**

編集後記

残暑厳しい日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今夏は菊池溪谷に多くの観光客が訪れ、清流と豊かな自然が市内外の人々を癒す光景が見られました。市としても観光振興に力を入れており、地域経済への波及が期待されます。

6月定例会では、観光に関する市の取組に加え、給食費のあり方や子育て支援策、さらには米の価格や需給調整といった農業の課題についても活発に議論されました。市民生活に直結するこれらの問題を取り上げることは、議会の重要な役割の一つです。

本号では、そうした議論の内容をできる限りわかりやすくお伝えできるよう努めました。議会広報が市民の皆さまとの橋渡しとなるよう、今後も丁寧な情報発信を心がけてまいります。ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

議会広報特別委員 稲継 智康

委員長／泉田 栄一郎 副委員長／大山 宝治
委員／本藤 潔 安武 睦夫 稲継 智康 島 春代

■議会広報特別委員会■